

熊本県総合射撃場 業務報告書

(令和4年5月)

熊本県スポーツ振興事業団・ミズノグループ

令和4年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1～3
	1 利用者対応	
	2 利用者の増加を図るための具体的な取組	
	3 サービス向上を図るための具体的な取組	
III	自主事業状況	4
	1 KSPA・MIZUNO スポーツプログラム	
	2 県全域へのスポーツ振興	
	3 施設の機能を活用した取組	
IV	維持管理状況	5～8
	1 施設・設備の維持管理	
	2 施設の衛生管理	
	3 安全管理及び体制	
	4 環境に留意した管理運営	
V	管理運営体制	8
	1 運営組織、人員配置	
	2 職員研修	
VI	緊急時対策体制	9～10
	1 事故発生時の対策・対応	
	2 各種災害時の対策・対応	
	3 感染症発生時の対策・対応	
	4 その他の対策	
	5 保険加入による補償体制	

【添付資料】

資料1 施設利用状況

資料2 職員による鉛回収状況

資料3 鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県の射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、また公益性を担保し「県全域のスポーツ振興と県民の健康増進」に貢献することを管理運営の最優先事項として取り組みます。

II 管理運営状況

1 利用者対応

(1) 施設利用状況

5月	利用者数		施設利用料	
	今年度	前年度	今年度	前年度
熊本県総合射撃場	649人	127人	1,460,920円	364,500円
累 計	1,388人	845人	3,513,680円	1,901,680円

※詳細は別添資料のとおり。

※前年度との比較

今年度は全日本選抜ライフル射撃競技大会が開催されたこと、また前年度同月は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として新規利用（個人利用）受付が停止されていたことから利用者数、施設利用料共に増となった。



(2)使用料の減免

[個人利用]

利用場所	利用人数
クレー射撃場	15人
ライフル射撃場（スモールボア射場）	6人
ライフル射撃場（エアライフル射場）	3人

(3)利用者からの苦情、要望等とその対応状況

5月は、利用者からの苦情、要望等とその対応状況はありませんでした。

2 利用者の増加を図るための具体的な取組

(1)利用者への情報提供

各情報は、ホームページ・SNS・パンフレット・リーフレットにより提供しています。

(2)利用拡大のための取組内容

①利用機会の拡大

大会名	供用日及び時間変更日時	使用施設
全日本選抜ライフル射撃競技大会	6日（金） 9:00 ～ 18:00	ライフル射撃場

②クレー射撃場

公式戦よりも射撃位置が前にある「トラップフィールド」を導入し、初心者でも楽しめるように設定しています。

③利用者優待制度

スタンプカードや事前予約メリット性など優待制度を行っています。

(3)地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働

5月は、地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働はありませんでした。

3 サービス向上を図るための具体的な取組

(1)利用者主体のサービス提供

大会名	実施内容	開催日
全日本選抜ライフル射撃競技大会	SB標的の昇降	6～8日
春季BP/BRランクリスト競技会	BR射場の照度設定及び動作点検	15日
国体予選（第1回）	AR射場の照度設定及びターゲットホルダーの調整、BR射場の照度設定及び動作点検、SB標的の昇降	15日
第二次宮崎公式	大会受付補助、射群編成ボード作成補助、スコアカード作成、大会参加記録用紙作成	28・29日

(2)利便性の向上

内 容
・銃の手入れ用具の貸出 ・雨傘の無料貸出 ・休憩用ベンチの設置 ・コピーFAX サービス など

(3)その他の取り組み

① 地域への貢献

実施日	場 所	内 容
8日	公道	除草

Ⅲ 自主事業状況

1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム

(1) スポーツ教室

① 通年型

教室名	時間	実施日	参加者数
ビームライフル教室	①10:00～11:00 ②11:30～12:30	22日	8名

2 県全域へのスポーツ振興

5月は、県全域へのスポーツ振興はありませんでした。

3 施設の機能を活用した取組

(1) クレー射撃

① トラップフィールド競技の導入

5月は、トラップフィールドの利用はありませんでした。

(2) ライフル射撃

① 教習射撃の実施

5月は、教習射撃の実施はありませんでした。

(3) 会議室

① 会議室の多目的活用

5月は、会議室の多目的活用はありませんでした。

IV 維持管理状況

1 施設・設備の維持管理

(1) 保守管理計画

[職員による日常点検一覧]

業 務 名	業務内容	実施日
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機械(芝刈機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	随時
射撃機器装置点検	動作確認、機能・通電点検整備	随時

[委託による保守点検一覧(定期)]

業 務 名	業務内容	実施回数	実施日
			異常有・無
自家用電気工作物保安全管理	漏電監視	毎日 24時間	毎日24時間
			異常無
浄化槽保守点検	浄化槽の保守点検	毎月	25日
			異常無

(2) 修繕・改修

[自主修繕等一覧]

実施内容	場 所	実施日
階段タイル崩れモルタル補修	管理棟前階段	1・3日
スキー場通路クラックモルタル補修	スキー場A	1・3日

[業者修繕等一覧]

実施修繕	場 所	実施日
通路照明廊下照明制御修繕	管理棟	24日

(3)外構や植栽の維持管理

[業者委託]

5月は、業者委託はありませんでした。

[職員作業]

場 所	実施内容	実施日
スキートAB、トラップAB、ライフル周辺、管理棟周辺	除草・花の水やり	1・2・4・8～10・12 18・19・21～23日
倉庫前	クレー・ワッズ分別	8・16・25日

2 施設の衛生管理

職員作業により、清潔で快適な空間の提供を行っています。

[職員による日常清掃内容]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週 2 回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週 1 回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月 1 回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

[職員等による特別清掃内容]

場 所	実施内容	実施日
ライフル棟	トイレ・通路清掃・機材整理	5・9・14日
トラップA	放出機清掃	9・16日

[新型コロナウイルス感染防止対策実施一覧]

内 容	対 応	期 日
新型コロナウイルス感染症対策 通常の感染対策を継続	<ul style="list-style-type: none"> ・園内掲示・HP掲載・施設内定期放送による利用者への感染対策注意喚起実施 ・施設内定期消毒 ・利用前の検温・チェックリストによる確認の実施 ・施設内トイレに便座のフタを閉じて流す旨を掲示 	1～31日

3 安全管理及び体制

(1)保安警備業務と体制

開場時間帯は職員による警備、閉場時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災に努めています。

[不審者や夜間不法侵入者等の緊急対応]

5月は、不審者や夜間不法侵入者等の緊急出勤はありませんでした。

区 分		業務内容	実施予定時期
職員実施		施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の発見や排除等	AM8:30～AM9:00 日中は随時 PM5:30～PM6:00
業者実施	機械警備	感熱・赤外線により火災・盗難、不良行為の監視	毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時	随時対応

(2)環境保全体制

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。また、回収作業は、グループ全体で取り組んでいます。

業 務 名	実 施 日
鉛回収、分別作業(職員により実施)	別添資料2参照
調整池清掃・汚泥回収	別添資料3参照
水質検査(採水日)	なし

4 環境に留意した管理運営

環境省の認証制度であるエコアクション 21 の方針に準じ「省エネ・省資源」「ゴミの減量化」「リサイクル」「グリーン購入」等、環境に配慮した取り組みを推進します。

取り組み	内容
環境啓発活動	地域公道のゴミ拾い
省エネ・省資源への取り組み	LED や節水コマの取付など、節電・節水に努める
リサイクル・リユース活動	回収した鉛や薬きょうを活用したストラップ等作成、販売

V 管理運営体制

1 運営組織、人員配置

射撃場長(統括責任者)のもと1課体制により、各種事業を円滑に行っています。

利用者対応は、開場時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っています。

利用案内・窓口受付	開場時間	職員配置時間	備考
管理棟受付窓口(4~9月)	9:00~18:00	8:30~18:30	施設点検・供用準備を含む
管理棟受付窓口(10~3月)	9:00~17:00	8:30~17:30	施設点検・供用準備を含む

2 職員研修

(1) 一般研修・階層別研修・専門研修・資格取得研修・他施設への派遣研修

区分	研修名・科目	対象	実施日
内部研修	プーラー・放出機安全・ビームライフル利用者対応研修	担当者	10日

VI 緊急時対策体制

1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに事故に対する保険に加入し、万全の補償体制をとっています。

[事故等に伴う職員の出勤]

5月は、事故等に伴う職員の出勤はありませんでした。

[常備機器・用具]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスポストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木 等	管理棟受付

2 火災、地震災害時の対策・対応

区分	内容	対応	対応日
地震	熊本地震による施設対応	危険区域の立入禁止措置	1～31日

3 気象災害時の対策・対応

5月は、気象災害時の対応・対策はありませんでした。

4 その他の対策

(1) その他の対策・対応

区分	内容	対応	対応日
光化学スモッグ	光化学スモッグ注意報発令訓練メール ※熊本市環境政策課	受信確認 ※随時	1～31日
その他	熊本市シェイクアウト訓練（地震速報メール） ※熊本市災害情報メール	受信確認 ※随時	1～31日
熱中症	定期的に熱中症測定器で計測し、利用者に情報を提供	定期計測 利用者へ熱中症予防呼び掛け	1～31日
熱中症	熱中症注意喚起ポスター掲示	ポスター掲示による利用者への注意喚起	1～31日

(2) 国民保護法に定める避難施設として指定された場合の支援

災害に備えて、飲料水を備蓄しています。

[危機管理マニュアル]

・台風、豪雨対応	・火災、地震災害対策	・微小粒子状物質(PM2.5)対策
・施設の爆破、占拠等対応	・人的災害対応	・新型コロナウイルス感染拡大防止
・光化学スモッグ対応	・落雷事故対応	マニュアル
・新型インフルエンザ対応行動計画	・熱中症予防対策	

5 保険加入による補償体制

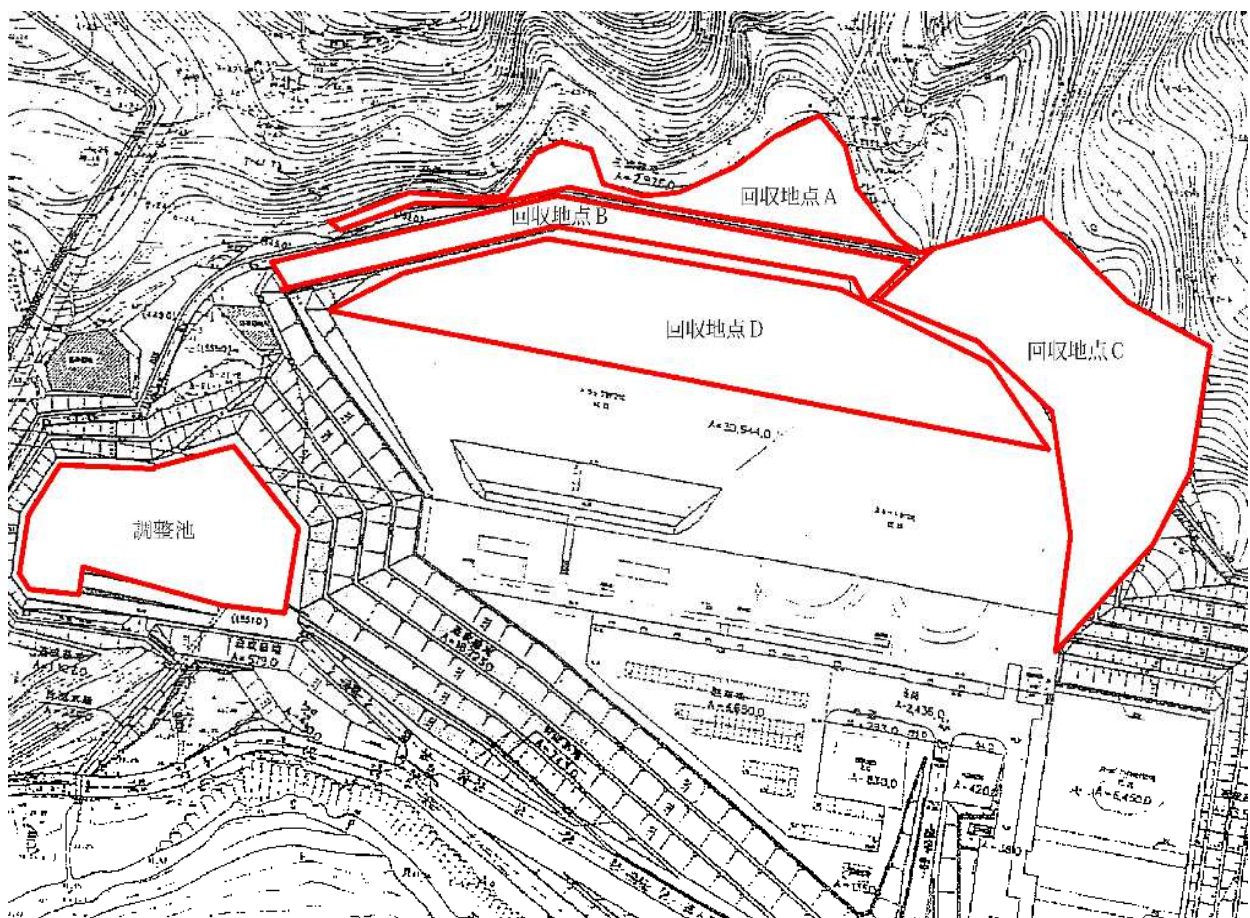
[賠償保険加入状況]

保険内容	補償内容
スポーツファシリティーズ保険 (公益財団法人日本スポーツ施設協会)	[施設所有(管理)者賠償責任保険] 対人賠償:1事故につき5億円(1名につき3億円) 対物賠償:1事故につき2億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日2,500円
行事参加者補償保険 (Chubb損害保険株式会社)	死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日3,000円 通院1日2,000円
個人情報漏えい保険 (東京海上日動火災保険株式会社)	賠償:1請求につき5,000万円 対応費用:1事故または1請求につき2,000万円

実施日	鉛回収量	泥回収量 (側溝)	回収地点				調整池汚泥 回収量	備 考
			A	B	C	D		
7日 (土)	60kg							鉛分別作業
8日 (日)	70kg							鉛分別作業
9日 (月)	40kg							鉛分別作業
10日 (火)	50kg	450kg	○	○	○	○		
11日 (水)	70kg							鉛分別作業
12日 (木)	108kg							鉛分別作業
13日 (金)	180kg							鉛分別作業
14日 (土)	110kg							鉛分別作業
16日 (月)	80kg							鉛分別作業
20日 (金)	180kg							鉛分別作業
24日 (火)	20kg	160kg	○	○	○	○		
26日 (木)	95kg							鉛分別作業
合 計	1,063kg	610kg	2	2	2	2	0kg	
累 計	1,633kg	1,235kg	4	4	4	4	0kg	

装弾発射量	クレー使用枚数	鉛弾量(1発)	推定鉛量	累計鉛量	備 考
	24,884枚	0.024kg	約597.2kg	約1,558.8kg	

鉛等回収地点図



鉛及び調整池汚泥等の回収及び鉛分別作業実績一覧表

実施日	曜日	作業人数	作業箇所	鉛回収量	側溝土砂量 (鉛含む)	調整池 汚泥回収	調整池 枯葉等除去	備考
5日	火	8人	全面回収	70kg	325kg			射撃場以外の施設から職員を動員
7日	木	2人	倉庫横	30kg				鉛分別作業
11日	月	1人	倉庫横	10kg				鉛分別作業
13日	水	1人	倉庫横	5kg				鉛分別作業
15日	金	2人	倉庫横	10kg				鉛分別作業
19日	火	7人	全面回収	35kg	300kg			射撃場以外の施設から職員を動員
19日	火	1人	倉庫横	20kg				鉛分別作業
21日	木	3人	倉庫横	130kg				鉛分別作業
27日	水	2人	倉庫横	10kg				鉛分別作業
28日	木	3人	倉庫横	75kg				鉛分別作業
29日	金	3人	倉庫横	140kg				鉛分別作業
30日	土	3人	倉庫横	35kg				鉛分別作業
4月回収量合計(36人)				570kg	625kg	0kg	0回	40,066枚×0.024kg=962kg
7日	土	3人	倉庫横	60kg				鉛分別作業
8日	日	3人	倉庫横	70kg				鉛分別作業
9日	月	2人	倉庫横	40kg				鉛分別作業
10日	火	8人	全面回収	50kg	450kg			
11日	水	3人	倉庫横	70kg				鉛分別作業
12日	木	3人	倉庫横	108kg				鉛分別作業
13日	金	6人	倉庫横	180kg				鉛分別作業
14日	土	3人	倉庫横	110kg				鉛分別作業
16日	月	1人	倉庫横	80kg				鉛分別作業
20日	金	3人	倉庫横	180kg				鉛分別作業
24日	火	8人	全面回収	20kg	160kg			
26日	木	3人	倉庫横	95kg				鉛分別作業
5月回収量合計(46人)				1,063kg	610kg	0kg	0回	24,884枚×0.024kg=597kg
合計(延人数 82名)				1,633kg	1,235kg	0kg	0回	64,950枚×0.024kg=1,559kg(累計)
回収量／鉛散乱量 = 1,633kg／1,559kg = 105%(鉛回収率)								
* 調整池汚泥回収量は、乾燥前の目視量である。								